



こんにちは、 岡田よしひでです

6月定例会

地元国会議員のオスプレイ誘致発言。知事の受け止めは

昨年7月14日の自民党中谷元衆議院議員、中西哲参議院議員の「オスプレイの宿毛誘致発言に対し、市民有志が8月、「オスプレイに反対する宿毛市民の会」を立ち上げ、9月17日には配備反対を訴える署名2209人分を中平宿毛市長に提出。その後も運動が続き、今年4月30日に合計4609筆の署名が追加提出されています。

県知事宛ての要請署名もとりくまれ6月19日時点で1326筆の署名が寄せられていることを紹介し、知事に対し「オスプレイ配備に対する住民の不安、反対の声をどう受け止めているの



国道195号線の安全点検 (7月15日)

か「国会議員の誘致発言にモノを言うべき」と質問しました。また、昨年7月15日の記者会見で知事が「県民の不安を受け止めている」とする一方、誘致について「一理ある」「もう少し行政面でどういうメリット、あるいは課題があるかを詰めてみたい」と発言していることの本意をたどりました。

知事は、住民の不安を改めて認識したと言いつつも、県としては、自衛隊誘致は、官民があげてとりくんであり、地元の取組を応援するスタンスであり、災害救援や地元経済効果もあり「二理ある」が、具体的な計画がないことから「メリットと課題を詰めてみたい」と述べたと説明。さらに自衛隊の寄港誘致は、賑わいをもたらし、平和利用の主旨に反するものではなく地元の取組を応援していきたい、と答弁。国会議員の発言は、「本人も国会議員の発言」と言っており「自衛隊誘致したいという熱心さのあらわれ」として問題ないとの認識を示しました。

195号線安全対策

日本共産党香美市議

団と一緒に、県中央東土木事務所からも二人来ていただき、国道195号線の危険箇所を、一緒に1時間半ほど歩いて見て回りました。

歩道が途切れている所や狭い場所、路面の状況が悪く危険なところなどチェックしました。先日、自転車どうしですれ違った際にぶつかり、車道に倒れた工科大学生がいます。車が走っていたら事故になるところでした。

県土木事務所に、工科大学生がぶつかったという電柱の移動と安全対策をお願いしていたところ、移動はすぐできないが、夜間にも目につく赤いポールを2本立ててくれました。(写真)

今回の点検行動をいかして通学路の安全対策が進められるよう求めました。



歩道のポール

おむすび通信 (91)

四国地方も梅雨が明けました。これからは猛暑が続きます。熱中症予防に水分をとって健康管理に努めましょう。菅政権の支持率が31%（朝日）と、昨年9月の政権発足以降最低に。科学に基づく新型コロナ対策を求めます。